

計画段階評価について
国道 1 8 8 号岩国市（ふじゅう藤生～ながの長野付近）
意見聴取結果（第 2 回）

平成 3 0 年 2 月 2 8 日

国土交通省 中国地方整備局

目 次

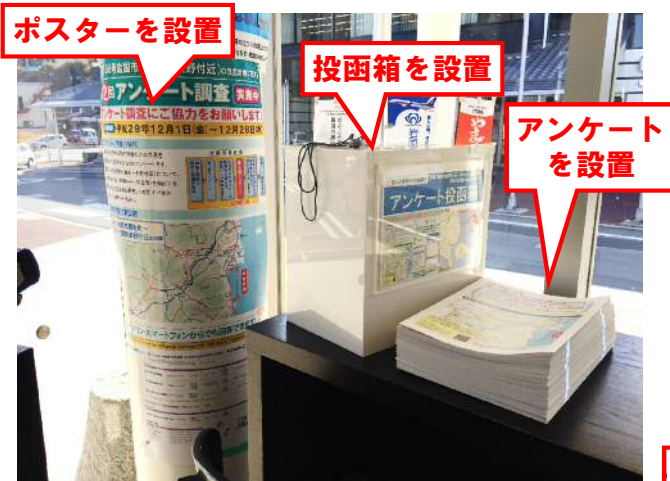
1. 第2回意見聴取の概要	・ ・ ・	2
2. 第2回意見聴取の結果	・ ・ ・	6
3. アンケートクロス集計結果	・ ・ ・	13

1. 第2回意見聴取の概要

1. 意見聴取の概要

- 回収率向上に向けて、自治体や観光地等における道路利用者アンケートの常設を実施。
- 国道188号(藤生～長野付近)アンケート調査ポータルサイトを作成し、WEBアンケート調査も実施。

■道の駅、自治体等での道路利用者アンケート票の常設



▲道の駅「上関海峡」



▲岩国市役所

■アンケート調査ポータルサイトの作成



バナーを掲載

ポータルサイト



■WEBアンケートページの作成

■みなさまが重視される事項についてご意見いただき、対策案決定の参考に致します。

Q22 今回、3つの対策案を検討していますが、地域にとって望ましい案を考える際に何が重要だと思いますか。以下の重視すべき項目1～14から、特に重視すべきと思われる項目について最大3つまで選んでください。

■特に重視すべきと思われる項目を最大3つまで選択

- ☐ 1. 物流時間の短縮や移動時間を減らすこと、産業活動を支援すること
- ☐ 2. 渋滞が緩和できること
- ☐ 3. 救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること
- ☐ 4. 交通事故が起きにくいこと
- ☐ 5. 歩行者の安全性が確保されること
- ☐ 6. 越後による通行止め発生時に代替路が確保されること
- ☐ 7. 津波洪水による通行止め発生時に代替路が確保されること
- ☐ 8. 自然環境への影響が少ないこと
- ☐ 9. 道路沿線の大気質や騒音の影響が少ないこと
- ☐ 10. 移転などが必要な家屋が少ないこと
- ☐ 11. 工事中の交通規制の影響が少ないこと
- ☐ 12. 建設に要する費用が安いこと
- ☐ 13. 維持管理に要する費用が安いこと
- ☐ 14. その他: (回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)

1. 意見聴取の概要

○回収率向上に向けて、広報紙に折込したチラシ配布、ポスターの掲示を行うとともに、自治体HPにおいてWEBアンケートの広報を実施。

■チラシ(広報いわくに12月15日号に折込)



■自治体HP上における広報(クリックすることでポータルサイトにアクセス)



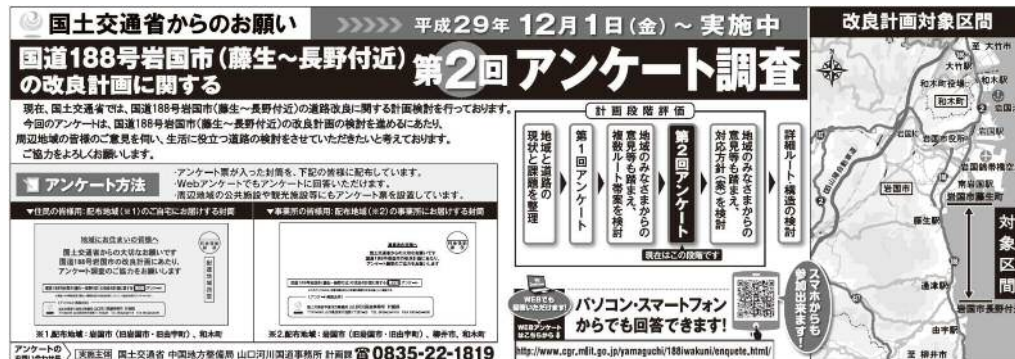
▲岩国市HP



▲柳井市HP

■ポスター

■新聞広告



▲常設箇所設置用

▲和木町HP

1. 意見聴取の概要

■意見聴取(アンケート)内容

質問事項

○特に重視すべき項目

○その他の懸念事項や配慮事項

質問1 今回、3つの対策案を検討していますが、地域にとって望ましい案を考える際に何が重要と思いますか？
以下の重視すべき項目①～⑭から、特に重視すべきと思われる項目について最大3つまで選んでいただき、番号とその理由や内容をお書きください。

- ① 物流時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること
- ② 渋滞が緩和できること
- ③ 救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること
- ④ 交通事故が起きにくいこと
- ⑤ 歩行者の安全性が確保されること
- ⑥ 越波による通行止め発生時に代替路が確保されること
- ⑦ 津波浸水による通行止め発生時に代替路が確保されること
- ⑧ 自然環境への影響が少ないこと
- ⑨ 道路沿線の大気質や騒音の影響が少ないこと
- ⑩ 移転などが必要な家屋が少ないこと
- ⑪ 工事中の交通規制の影響が少ないこと
- ⑫ 建設に要する費用が安いこと
- ⑬ 維持管理に要する費用
- ⑭ その他（上記以外で重視すべき項目についてご自由にお書きください）

質問2 その他、道路を整備することによる懸念事項や配慮した方が良いと思うことなどがありましたら、ご自由にお書きください。

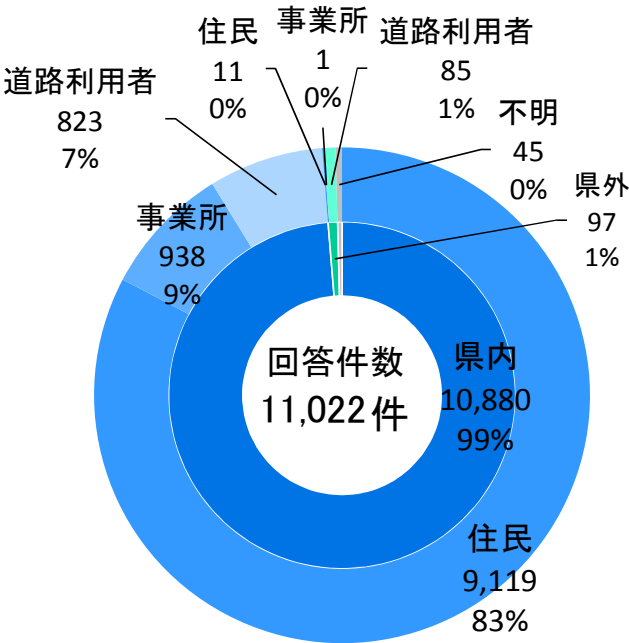
2. 第2回意見聴取の結果

2. 第2回意見聴取の結果

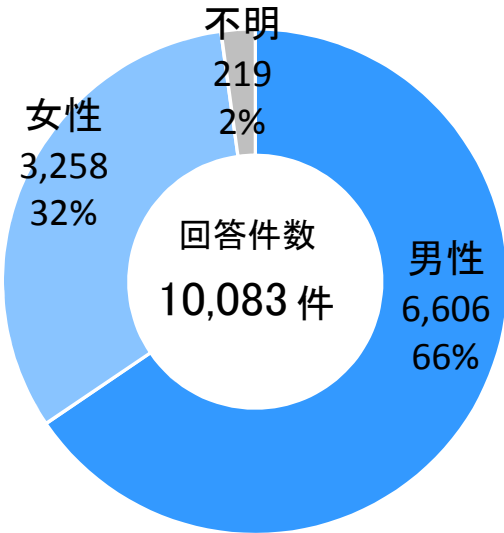
1) 属性①

○住民約9,100人、道路利用者約900人、事業所約940社から合計約11,000件の意見聴取を実施。
○回答者の性別は約7割が男性であり、年代としては50代までが約4割を占める。

アンケート回収状況

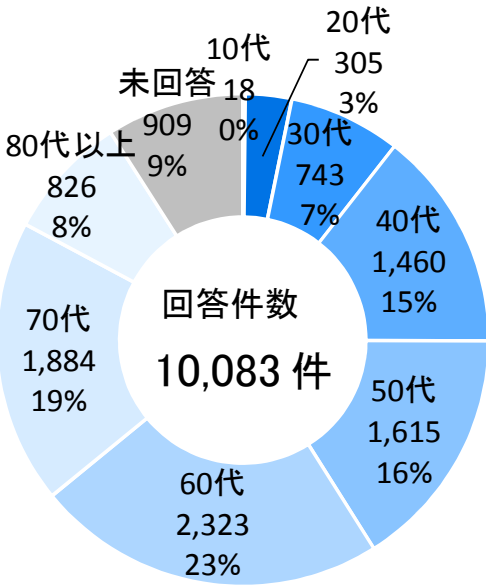


性別



※住民、道路利用者のみ

年代



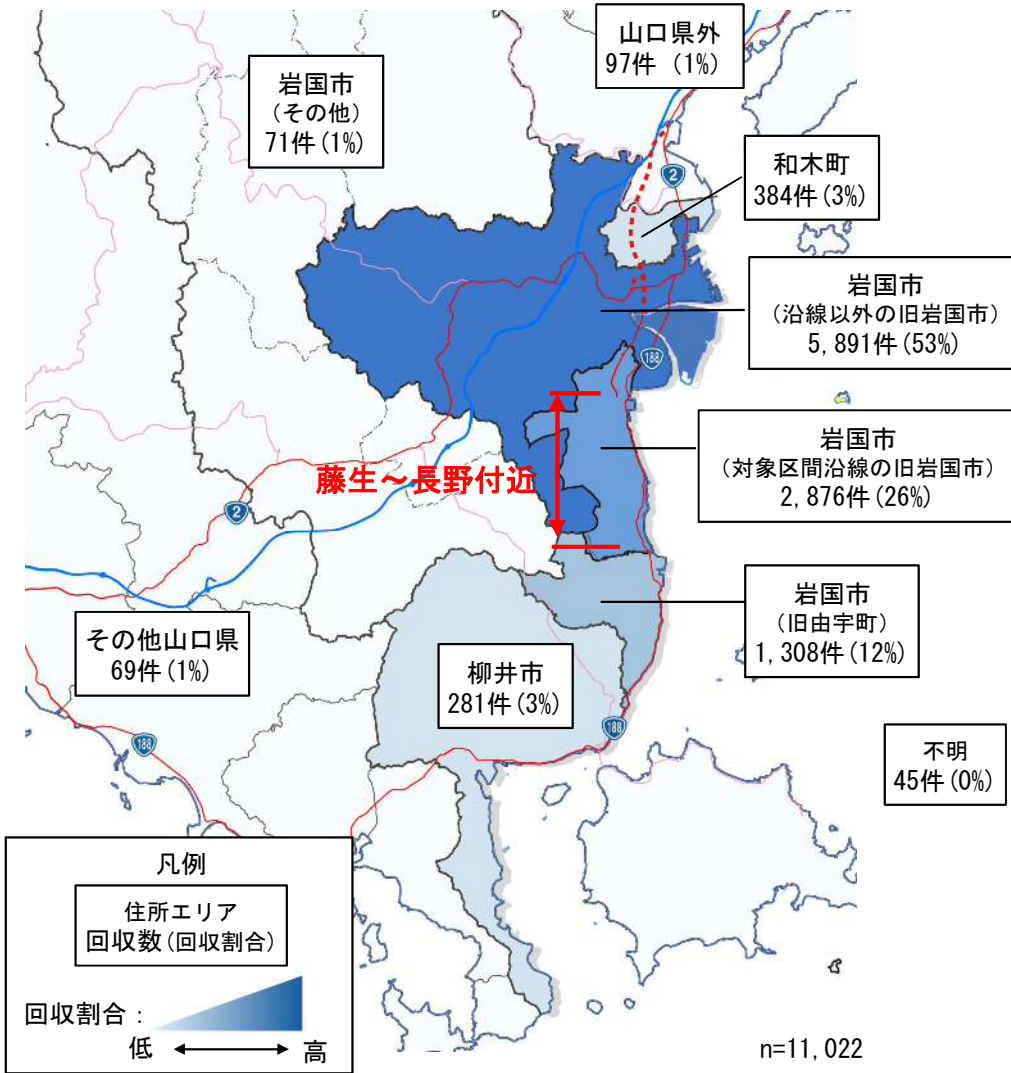
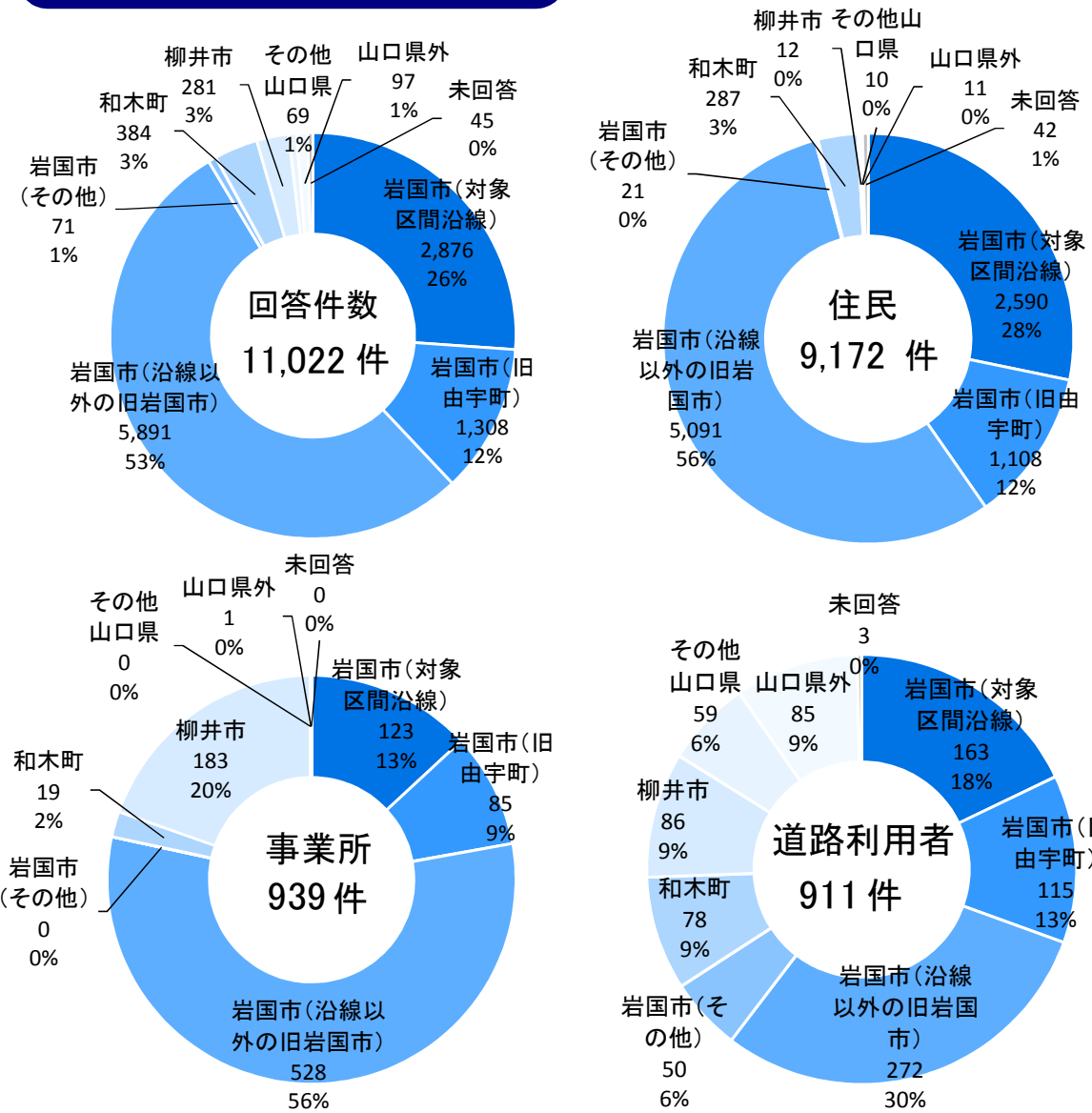
※住民、道路利用者のみ

3. 第2回意見聴取の結果

1) 属性②

○回答者のうち、旧岩国市、旧由宇町からの回答が約9割を占める。

住所

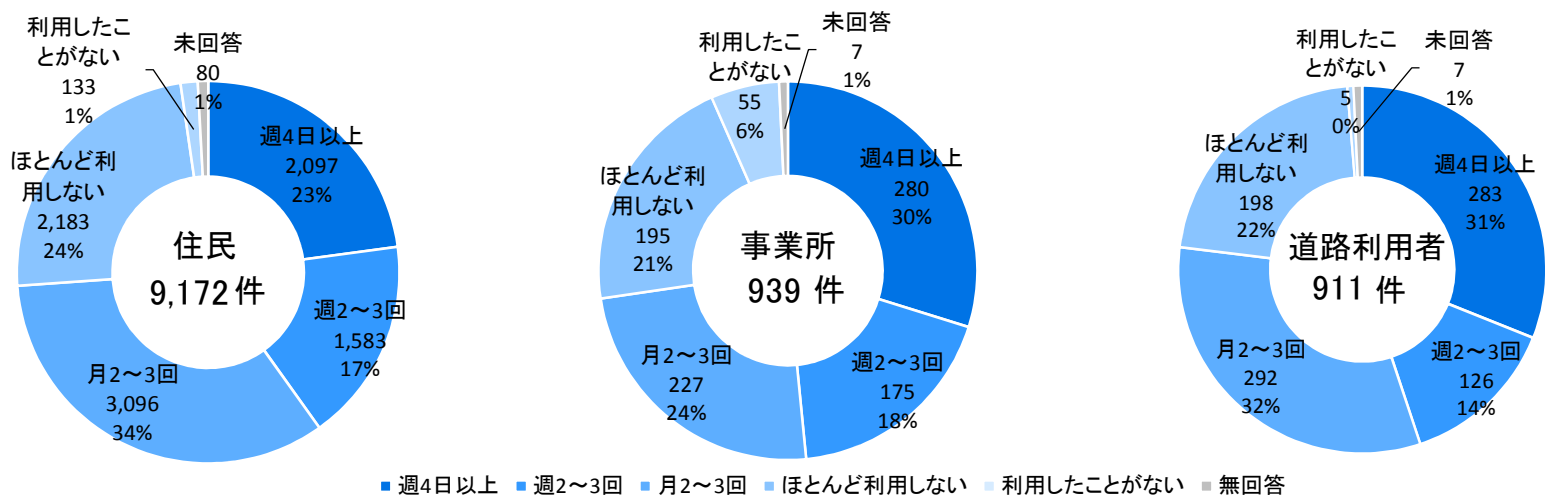


3. 第2回意見聴取の結果

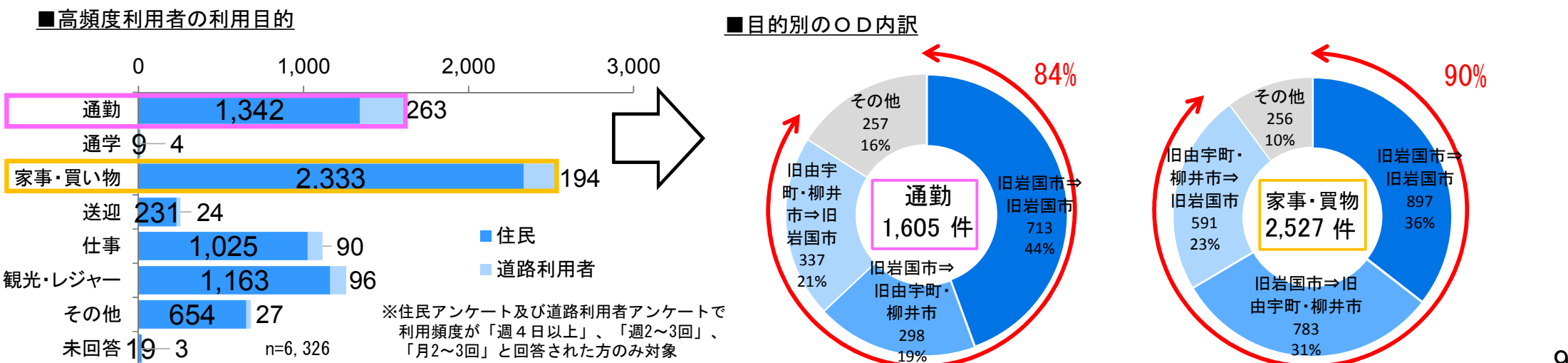
1) 属性③

○回答者の7割以上が当該区間(藤生～長野付近)を「月2～3回以上利用している」と回答。
○住民と道路利用者の利用目的は「家事・買い物」「通勤」と回答した方が多く、旧岩国市内の移動、旧岩国市と旧由宇町・柳井市間の移動が約9割を占める。

現在の国道188号(藤生～長野付近)の利用頻度



現在の国道188号(藤生～長野付近)の利用目的



2. 第2回意見聴取の結果

2) 特に重視すべき項目

- 全ての住所において「② 渋滞が緩和できること」が最も多く、また、①～⑦の“道路整備による効果・改善点”の割合が高いなど、重視すべき項目の傾向は同じである。
- 対象区間沿線の回答者が特に重視すべき項目として「② 渋滞が緩和できること」が最も多く、次いで「④交通事故が起きにくいこと」「③救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること」となっている。
- 沿線以外の旧岩国市の回答者は、配慮すべき点の意見として「⑫建設に要する費用が安いこと」を指摘する声が多くなっている。

住所別重要事項

質問1 今回、3つの対策案を検討していますが、地域にとって望ましい案を考える際に何が重要と思いますか？重視すべき項目①～⑭から、**特に重視すべきと思われる項目**について**最大3つまで**選んでいただき、**番号とその理由や内容**をお書きください。

特に重視すべきと思われる項目		岩国市 (対象区間沿線) 回答者数:2,580人	岩国市 (旧由宇町) 回答者数:1,164人	岩国市 (沿線以外の旧岩国市) 回答者数:5,050人	和木町 回答者数:335人	柳井市 回答者数:251人	その他 回答者数:254人
効果・改善点による	① 物流時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること	17%	19%	22%	27%	36%	29%
	② 渋滞が緩和できること	81%	79%	76%	75%	77%	80%
	③ 救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること	28%	37%	29%	30%	40%	29%
	④ 交通事故が起きにくいこと	38%	29%	38%	36%	37%	44%
	⑤ 歩行者の安全性が確保されること	22%	10%	19%	21%	14%	24%
	⑥ 越波による通行止め発生時に代替路が確保されること	25%	26%	22%	20%	22%	20%
	⑦ 津波浸水による通行止め発生時に代替路が確保されること	20%	19%	16%	16%	12%	9%
配慮すべき点	⑧ 自然環境への影響が少ないこと	4%	3%	7%	10%	4%	7%
	⑨ 道路沿線の大気質や騒音の影響が少ないこと	5%	3%	4%	6%	2%	4%
	⑩ 移転などが必要な家屋が少ないこと	11%	9%	11%	8%	4%	5%
	⑪ 工事中の交通規制の影響が少ないこと	18%	20%	15%	14%	18%	14%
	⑫ 建設に要する費用が安いこと	11%	10%	16%	10%	12%	11%
	⑬ 維持管理に要する費用	3%	3%	7%	7%	6%	9%
	⑭ その他	2%	2%	2%	0%	1%	1%

※割合は、回答者数に対する各項目回答数を示している。
※1人あたりの最大回答件数を最大3件でカウント(1件もしくは2件しか回答していない回答者がいるため回答件数の合計は回答者数の3倍とならない)

2. 第2回意見聴取の結果

3) 道路整備における懸念事項・配慮した方がよい項目

〇渋滞緩和、産業活動支援、越波時の代替路の確保、津波浸水時の代替路の確保等に期待が寄せられている。

質問2 その他、道路を整備することによる懸念事項や配慮した方が良いと思うことなどがありましたら、ご自由にお書きください。

分類	回答者属性	理由や内容
① 物流時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること	住民/岩国市（沿線以外の旧岩国市）/50代男性	バイパスは南伸だけでなく、岩国・大竹道路も早期に完成して欲しい。バイパスが大竹まで完成すれば岩国市の経済効果に多大なものがある。
	住民/岩国市(対象区間沿線)/80代男性	どれも大事なことですが、産業を支援するネットワークは特に必要だと思います
② 渋滞が緩和できること	住民/岩国市(旧由宇町)/年齢不明男性	該当区間の混み具合はひどいものです。南岩国バイパスの整備により、灘-錦見はだいぶ良くなりましたが、中電以西のバイパス整備は早急をお願いします。
	企業/柳井市/運輸・郵便業	対象区間を業務として利用することは皆無であるが、社員の通勤において慢性的に渋滞に難渋している状況であり、代替路の設置及び対象区間の渋滞の早期解消を切望いたします。
③ 救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること	住民/岩国市(対象区間沿線)/60代男性	環境・利便性などすべてに対処できると言う事が理想ですが、まずは人命にかかわる事を第一に考えて整備していただきたいと思います。
	住民/岩国市（沿線以外の旧岩国市）/80代男性	災害や交通事故発生で通行止になった場合、急痛で救急車に乗ったとしても(1分1秒を競うのに)岩国医療センターに着けない。尊い命を犠牲にすることになる。
④ 交通事故が起きにくいこと	住民/岩国市（沿線以外の旧岩国市）/30代女性	事故が起こりにくいような見通しの良い道路にして欲しい。
	住民/岩国市（沿線以外の旧岩国市）/50代男性	道路整備による移動時間の短縮はよいが、スピードの出しすぎ等による、交通事故の多発をまねかない必要がある。
⑤ 歩行者の安全性が確保されること	住民/岩国市（沿線以外の旧岩国市）/40代女性	歩行者の安全性と共にまわりで生活されている方の安心を確保してあげてほしいです。
	企業/岩国市(沿線以外の旧岩国市)/建設業	この区間は道路幅が狭いので、歩行者や自転車危険なので、道路幅を広くした方が安全に通行できます
⑥ 越波による通行止め発生時に代替路が確保されること	住民/岩国市(対象区間沿線)/50代男性	R188は、海拔が大変低く、台風時など、海水を被る事もあり、山側の新道とするべきだと思う。
	住民/岩国市(旧由宇町)/40代男性	自然災害の影響を受けにくい場所にしてほしい
⑦ 津波浸水による通行止め発生時に代替路が確保されること	住民/岩国市(対象区間沿線)/50代男性	188号線は津波などがおこると対応出来ないで、う回する道路や場所はあった方が良くと思う
	住民/岩国市（対象区間沿線）/50代女性	個人的に完全バイパスが良いと思うが、近い将来、必ず来るのであろう津波に対して、海岸近くの対策は、ほとんど出来ないことになる。これからの整備工事には、津波対策を盛り込む事が、絶対必要だと考える。そうすると、海岸線の整備の方が良いとも。どうせする工事ならその辺りも、しっかり入れ込んで欲しい。

回答者数:3,236人

2. 第2回意見聴取の結果

3) 道路整備における懸念事項・配慮した方がよい項目

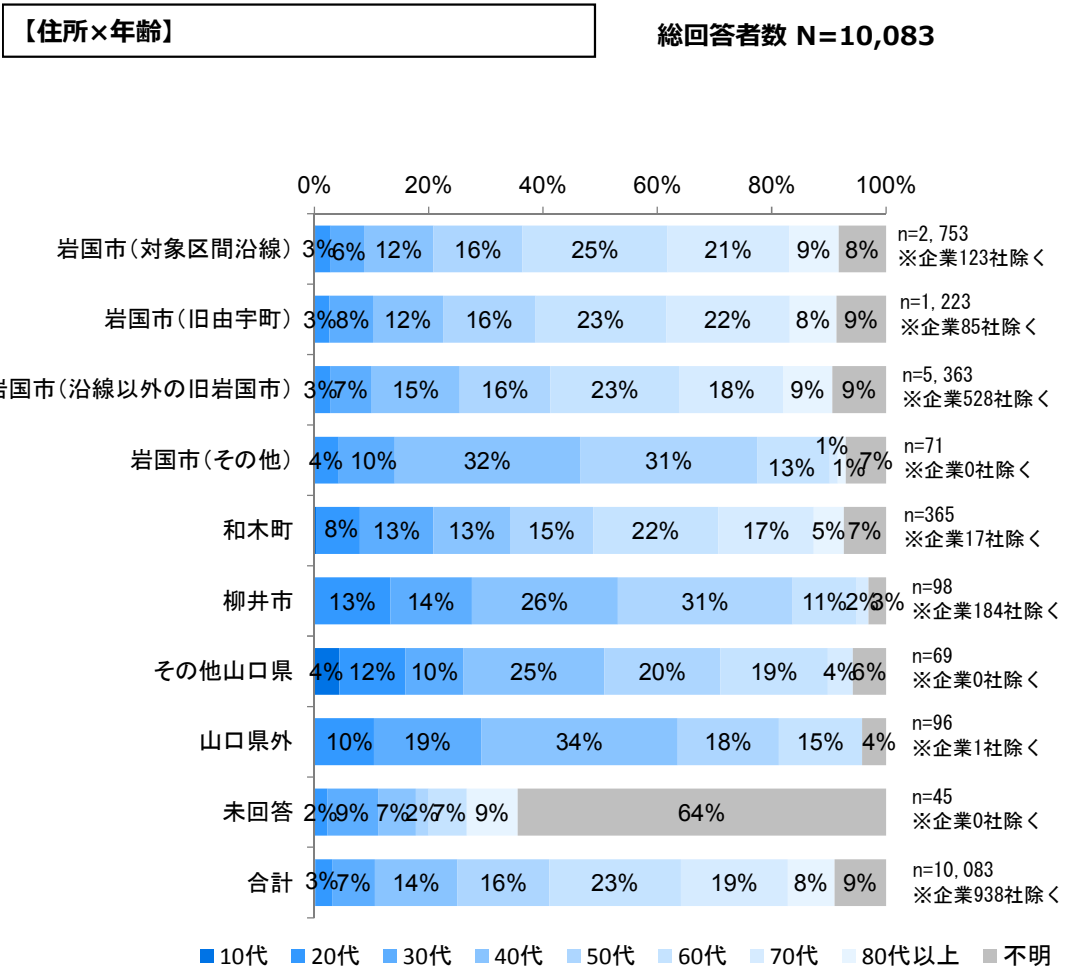
分類			回答者属性	理由や内容
⑧ 自然環境への影響が少ないこと			住民/岩国市(旧由宇町)/60代女性	山側にバイパスを作る場合、自然に多少の影響が出てくると思うので、配慮が必要だと思う。
⑨ 道路沿線の大気質や騒音の影響が少ないこと			住民/岩国市(旧由宇町)/70代男性	町中を通すと大気汚染や騒音・事故が発生する 町中を通さない方が良い
⑩ 移転などが必要な家屋が少ないこと			住民/岩国市(対象区間沿線)/80代以上男性	経費的に又家屋移転等で大変困難な作業となりNGだ
⑪ 工事中の交通規制の影響が少ないこと			住民/岩国市(対象区間沿線)/30代女性	整備の時片側通行が続くと近隣に住む人や通勤で利用する人がつらくなるのでできればさけてあげてほしいです。
⑫ 建設に要する費用が安いこと			住民/岩国市(対象区間沿線)/60代男性	環境への配慮、費用対効果の面からの検討を望みます。
⑬ 維持管理に要する費用			住民/和木町/60代男性	道路維持管理のし易い設計を。
⑭ その他	その他配慮すべき点	事業が早期に完成できること	住民/岩国市(沿線以外の旧岩国市)/40代男性	暫定2車線でよいので、早く延伸してネットワークとしての機能を持たせること。(岩国・大竹道路とも)
		沿線地域のアクセス性を高めること	住民/岩国市(対象区間沿線)/70代男性	この地域は、沿岸部において最も開発の遅れた地域です。将来の地域開発に貢献できるような既存道路とのアクセスを考えて下さい。
		良好な景観を確保すること	住民/岩国市(沿線以外の旧岩国市)/50代男性	美しい瀬戸内海を見渡せながら走れるような観光の一翼を担えるような道になるとなおい。 (車を停めて海を眺められるような場所を作る等)
	その他	ルートに関する意見	住民/岩国市(旧由宇町)/年齢不明/男性	通津、藤生地区の188号は生活道路でもあるし、通過交通のための道路でもある。安全とか環境の面から混用を避けたい。そのためには案1の全線バイパスが良い。
		道路の機能・構造に関する意見	住民/岩国市(旧由宇町)/40代男性	自転車(スポーツ走行する自転車)が増えてるように感じるため、トラックやバスが走っても路片に余裕がある広い道にした方が良くと思う。
		地域活性化を支援すること	企業/岩国市(沿線以外の旧岩国市)/小売業	元の国道の跡地の活用も考慮に入れ、岩国市の発展出来る道路整備を望みます。
		公共交通を活用すること	住民/岩国市(沿線以外の旧岩国市)/50代男性	公共交通機関(バス)の通行もスムーズになれば、それを利用する高齢者は増えて、事故も減ると考えます。
		道路整備は不要とする意見および必要性の検証を求める意見	住民/岩国市(沿線以外の旧岩国市)/70代女性	朝夕の通勤、通学時は多少の渋滞はあると思いますが、日中はすいてます。これからは人口も減り、高齢者の免許返納もあるので、長い目で計画を立てた方が良くと思う
		長野以南の整備に関する意見	住民/岩国市(沿線以外の旧岩国市)/40代男性	現在の計画では長野までとなっているが、防災や交通安全の視点から見ても更なる南進の必要性は非常に高い。
		地元説明等を求める意見	住民/岩国市(対象区間沿線)/60代男性	地元住民への説明をしっかりと、理解を得る事が望ましい。
		年度末の工事に関する意見	住民/岩国市(対象区間沿線)/50代女性	年末から年度末になると道路工事が多いので、時期を考慮していただきたい。
		現道の改良に関する意見	住民/岩国市(沿線以外の旧岩国市)/50代男性	通津工業団地入口に信号機の設置をお願いします。
		その他	企業/岩国市(対象区間沿線)/医療・福祉業	このようなアンケートするお金がもったいない必要なのはわかっているはずなのに、なぜすぐ道路整備しないのかかわからない！
			企業/岩国市(沿線以外の旧岩国市)/学術研究・専門・技術サービス業	南道路の延伸計画も大事ではあるが、現在工事中の山手-大竹間の早期完成の方を一日も早く目指してほしい！

3. アンケートクロス集計結果

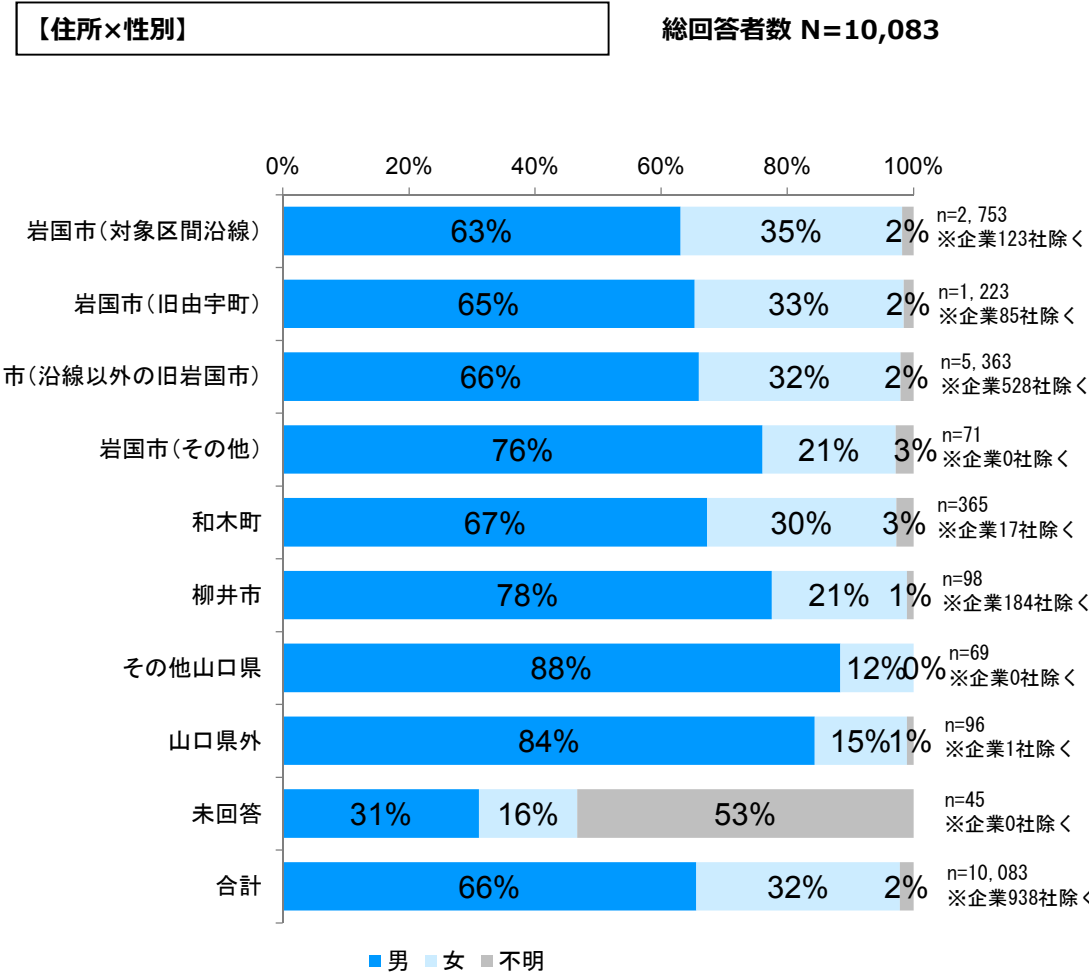
3. アンケートクロス集計結果

1) 属性分析①（住所別）

○住所別年齢は、年齢構成に大きな偏りは無いが、沿線地域外に比べ、岩国市（対象区間沿線）の高齢者の回答割合が高い。
○住所別性別は、概ね男性が7割、女性3割である。



※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果
※企業アンケート（n=939）を除く

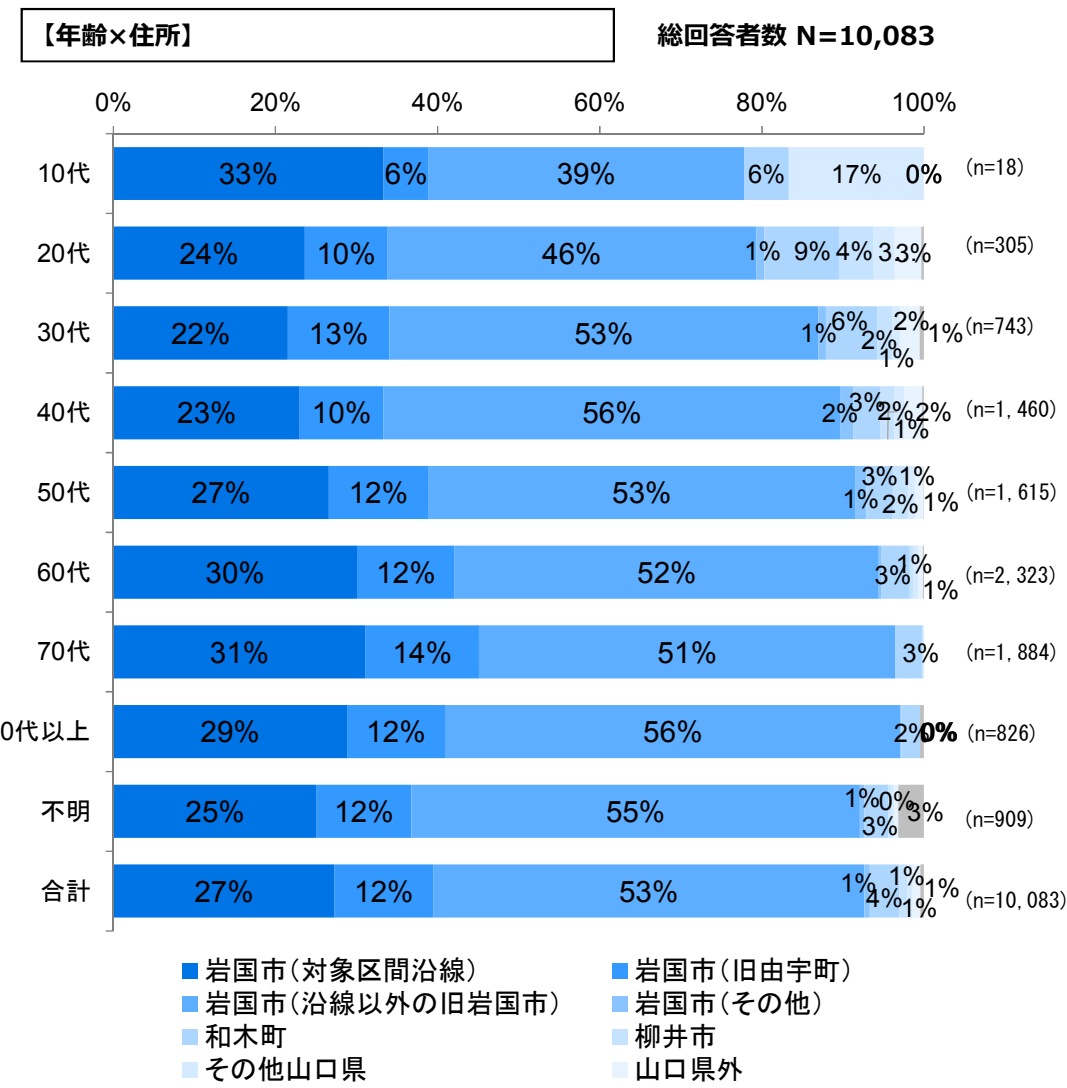


※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果
※企業アンケート（n=939）を除く

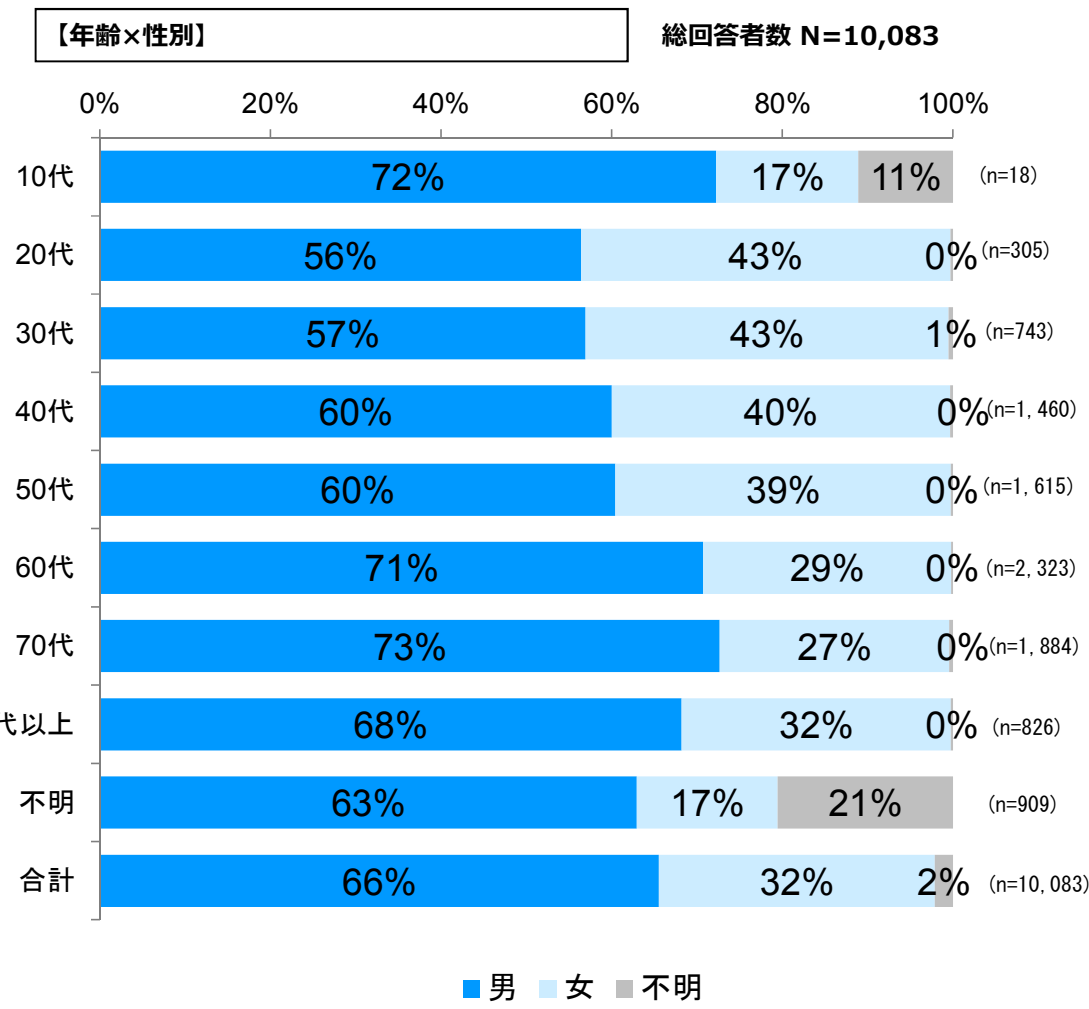
3. アンケートクロス集計結果

2) 属性分析②（年齢別）

○年齢別居住地は、高齢になるほど岩国市（沿線以外の旧岩国市）の回答者の割合が高い。
○高齢になるほど、男性の回答割合が高い。



※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果
※企業アンケート（n=939）を除く

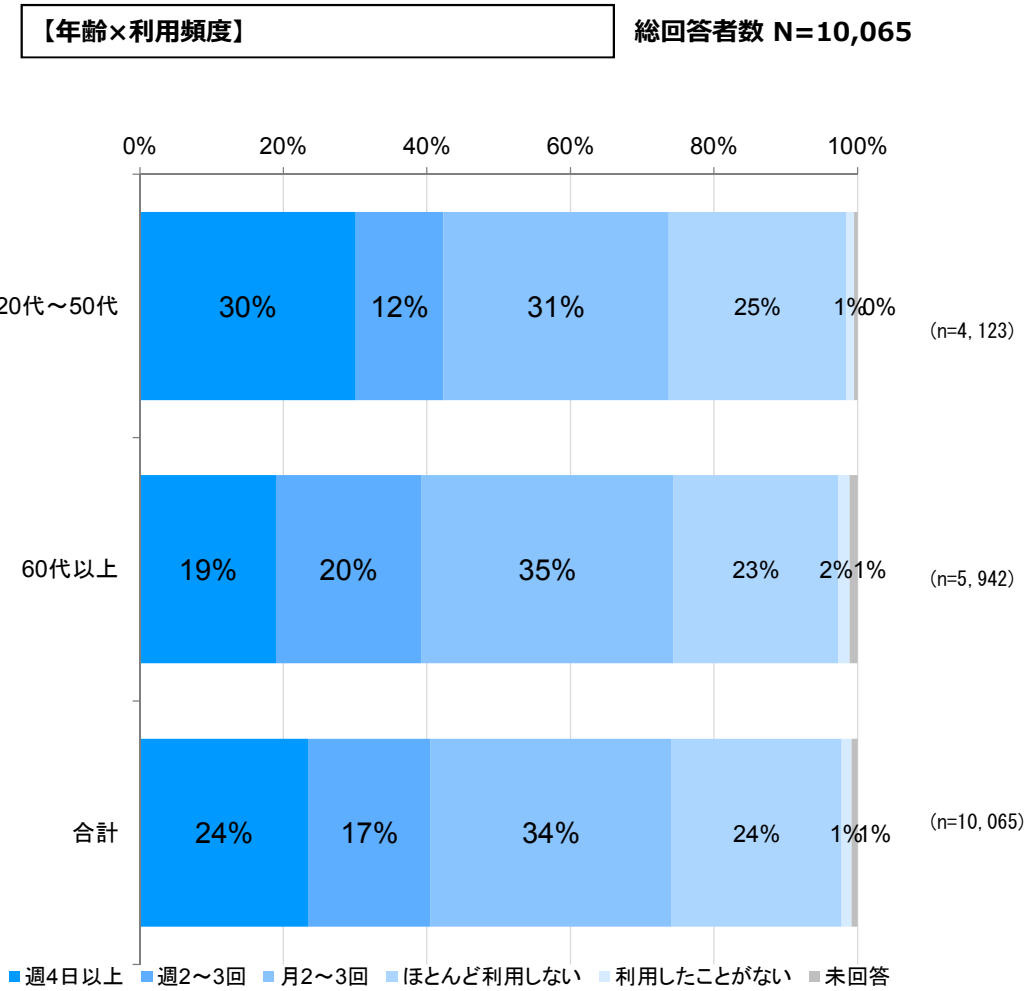


※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果
※企業アンケート（n=939）を除く

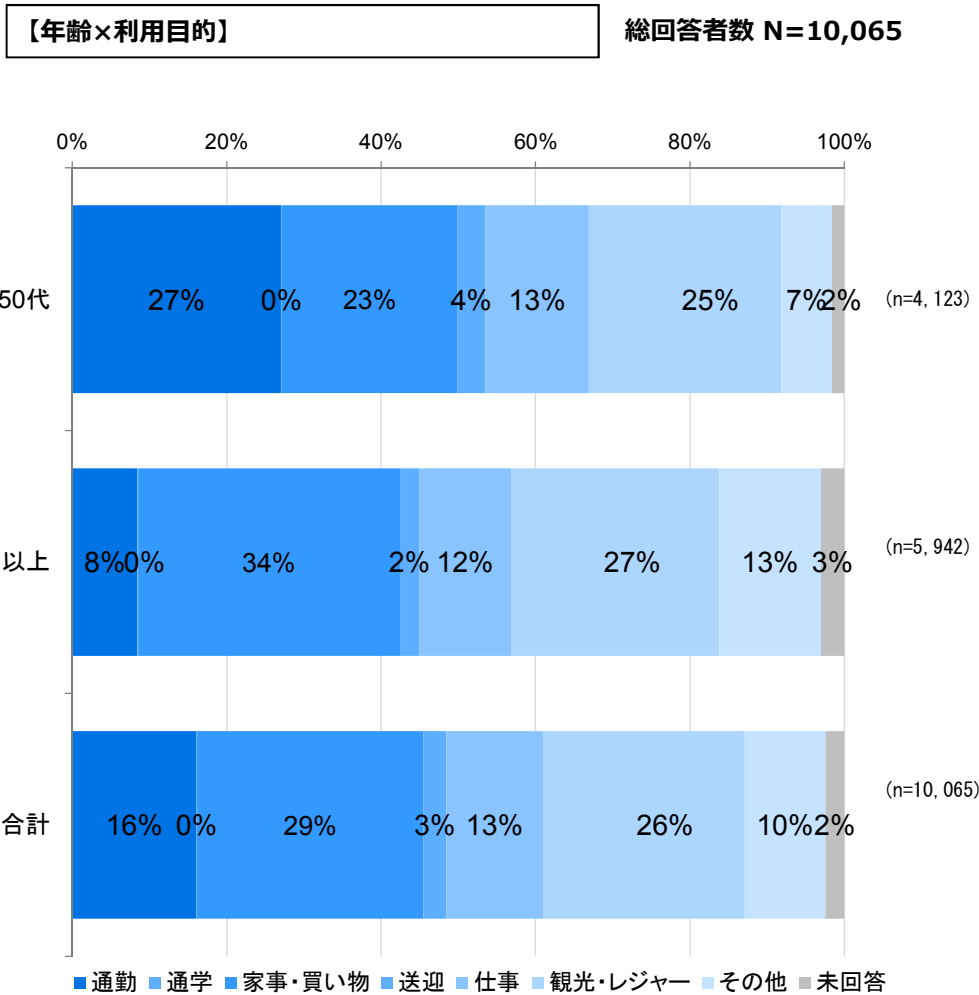
3. アンケートクロス集計結果

3) 属性分析③ (年齢別)

- 年齢別利用頻度は、高齢になるほど利用頻度が低い。
- 年齢別利用目的は20代～50代は通勤、60代以上は家事・買い物が高い。



※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果
※10代(n=18)を除く
※企業アンケート (n=939) を除く



※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果
※10代(n=18)を除く
※企業アンケート (n=939) を除く

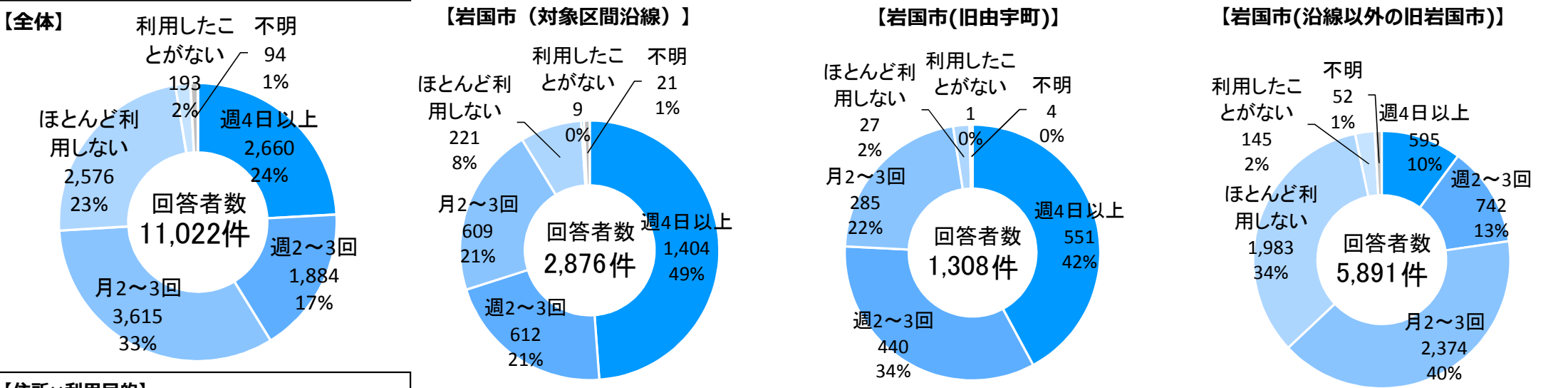
3. アンケートクロス集計結果

4) 利用頻度・目的分析①(住所別)

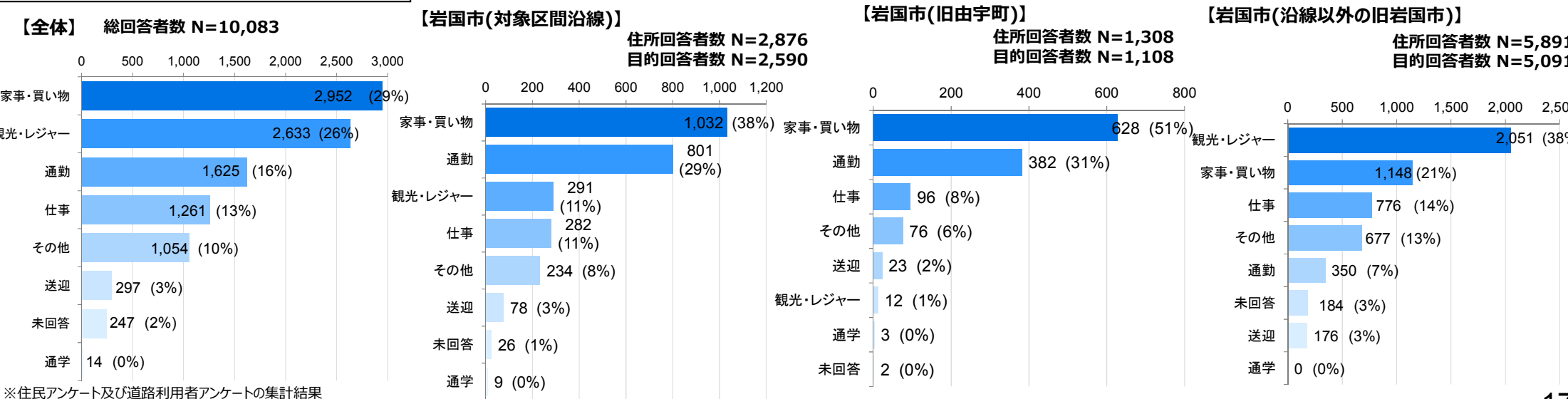
○住所別の利用頻度は、岩国市(沿線以外の旧岩国市)の利用頻度が高い。

○住所別利用目的は、全体では「家事・買い物」が最も多く、次いで「観光・レジャー」、「通勤」となっており、岩国市(対象区間沿線)は「家事・買い物」、「通勤」となっている。一方で、沿線以外の旧岩国市は最も多い利用目的が「観光・レジャー」となっている。

【住所×利用頻度】



【住所×利用目的】



※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果
※企業アンケート (n=939) を除く

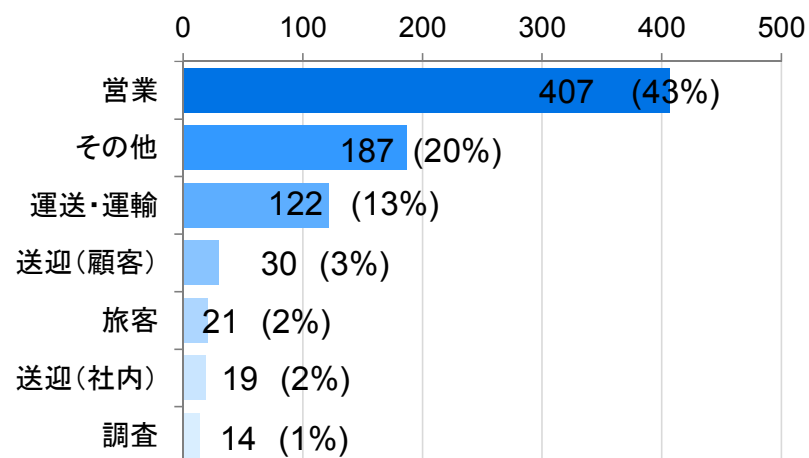
3. アンケートクロス集計結果

5) 利用頻度・目的分析②（住所別）

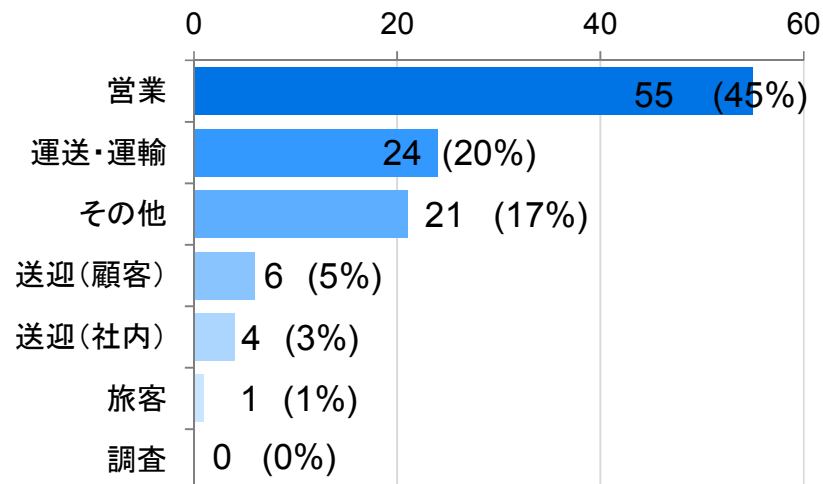
○企業の利用目的は、全体では「営業」が最も多く、次いで「その他」、「運送・運輸」となっており、岩国市(対象区間沿線)は「営業」が最も多く、次いで「運送・運輸」、「その他」となっている。

【住所×利用目的(企業)】

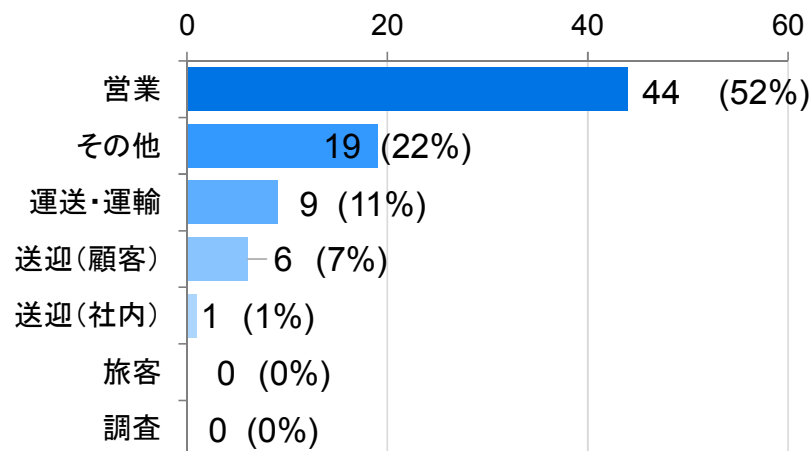
【全体】 回答者数 N=800



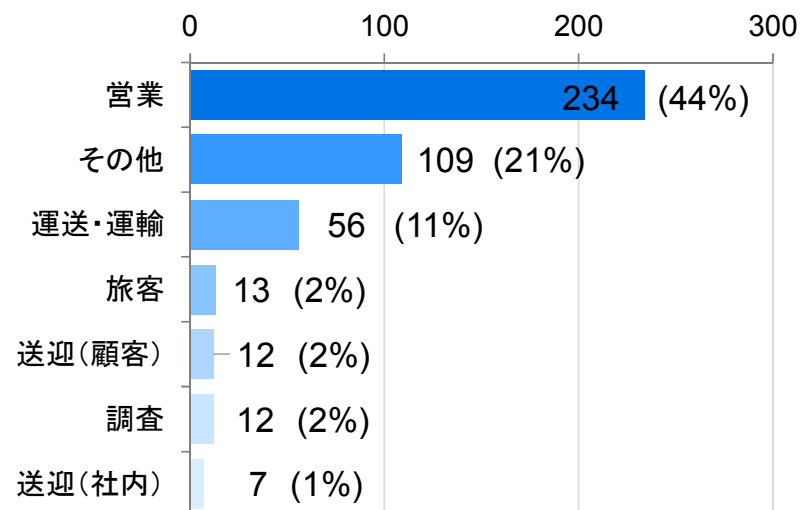
【岩国市(対象区間沿線)】 回答者数 N=112



【岩国市(旧由宇町)】 回答者数 N=79



【岩国市(沿線以外の旧岩国市)】 回答者数 N=443



3. アンケートクロス集計結果

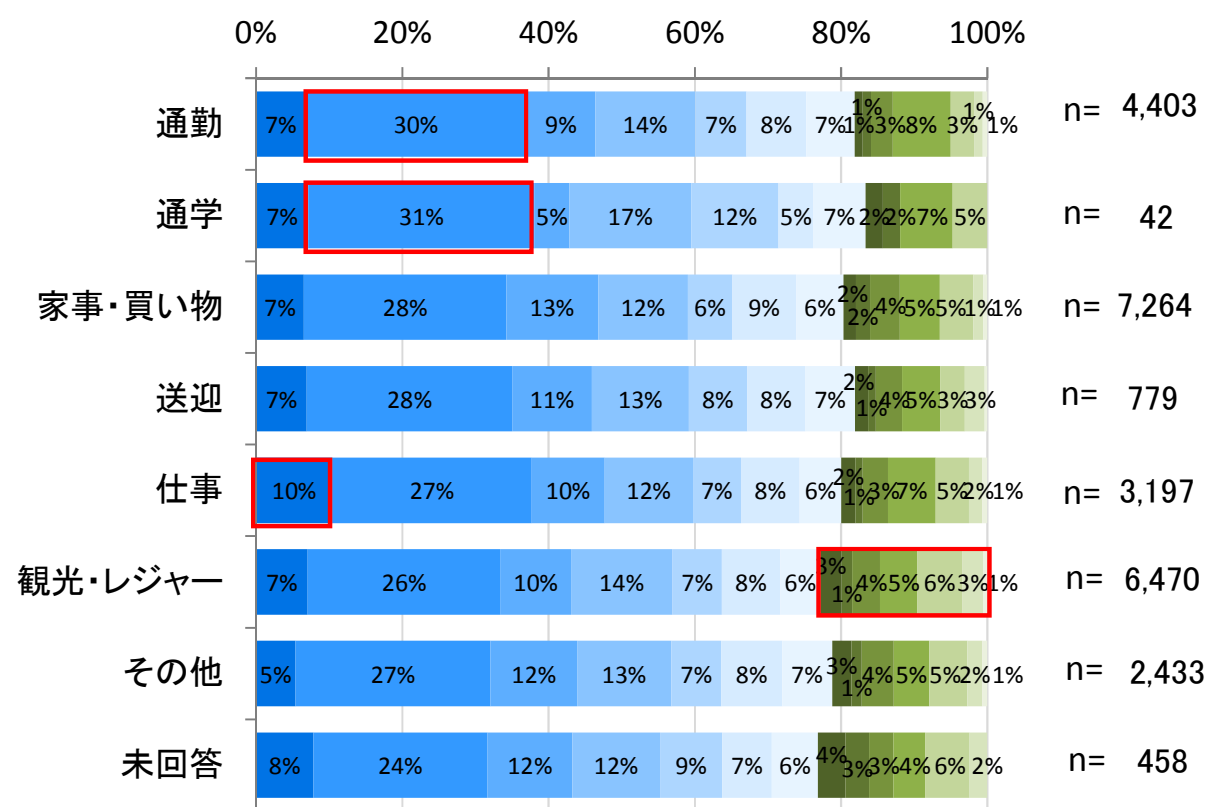
6) 特に重視すべき項目の分析①（利用目的別[住民・道路利用者]）

○通勤や通学が利用目的の住民・道路利用者は、「②渋滞が緩和できること」を重視する割合が高い。

○仕事利用目的の住民・道路利用者は、「①物流時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること」を重視する割合が高い。

○観光・レジャーが利用目的の住民・道路利用者は、「⑧～⑭配慮すべき点」を重視する割合が高い。

【重視すべき項目×利用目的(住民・道路利用者)】



道路整備による効果・改善点

- ① 物流時間の短縮
- ② 渋滞が緩和
- ③ 救急医療機関へ早く搬送
- ④ 交通事故
- ⑤ 歩行者の安全性
- ⑥ 越波による代替路
- ⑦ 津波浸水による代替路

配慮すべき点

- ⑧ 自然環境への影響
- ⑨ 大気質や騒音の影響
- ⑩ 移転などが必要な家屋
- ⑪ 工事中の交通規制の影響
- ⑫ 建設に要する費用
- ⑬ 維持管理に要する費用
- ⑭ その他

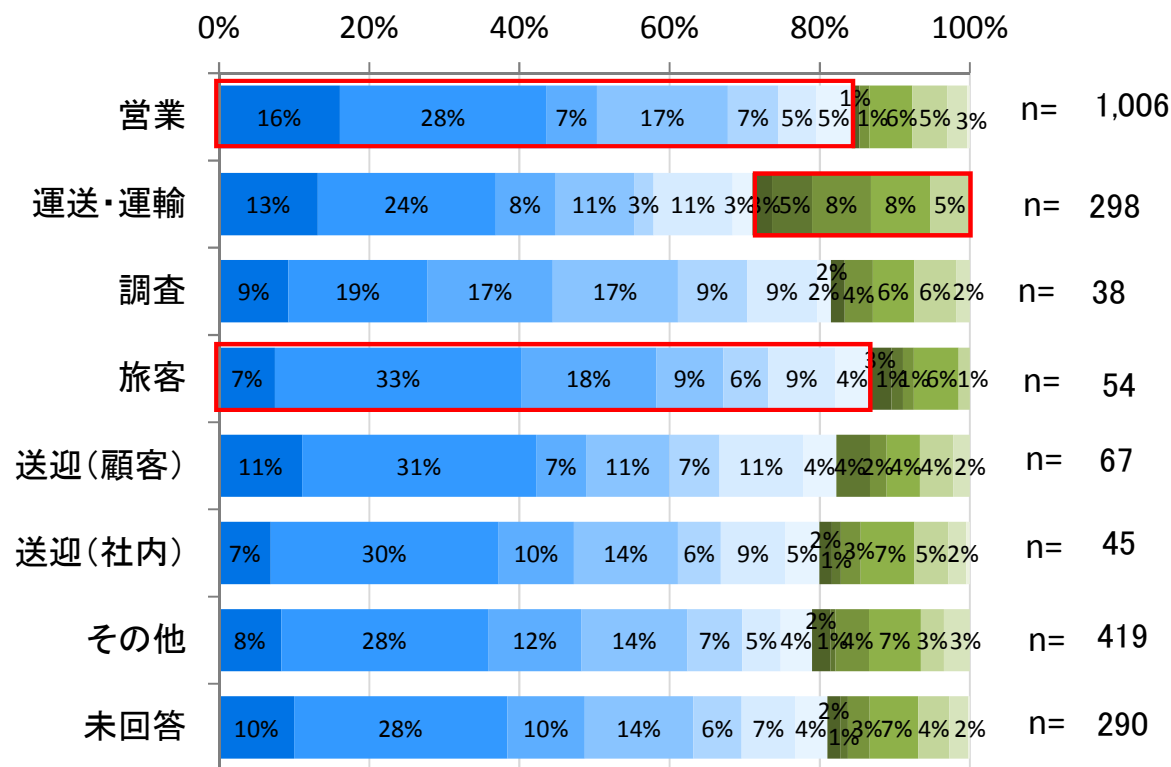
3. アンケートクロス集計結果

6) 特に重視すべき項目の分析①（利用目的別[企業]）

○営業、旅客が利用目的の企業は、「①～⑦道路整備による効果・改善点」を重視する割合が特に高い。

○運送・運輸が利用目的の企業は、「⑧～⑭配慮すべき点」を重視する割合が高い。

【重視すべき項目×利用目的(企業)】



道路整備による効果・改善点

- ① 物流時間の短縮
- ② 渋滞が緩和
- ③ 救急医療機関へ早く搬送
- ④ 交通事故
- ⑤ 歩行者の安全性
- ⑥ 越波による代替路
- ⑦ 津波浸水による代替路

配慮すべき点

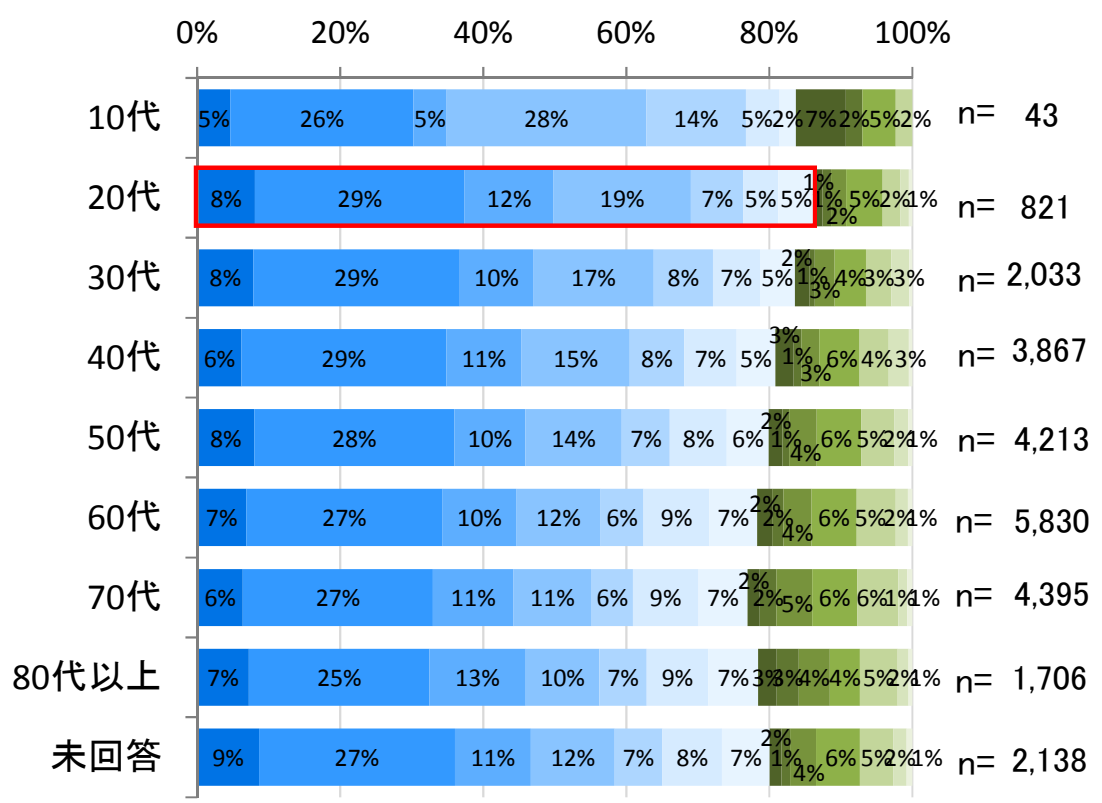
- ⑧ 自然環境への影響
- ⑨ 大気質や騒音の影響
- ⑩ 移転などが必要な家屋
- ⑪ 工事中の交通規制の影響
- ⑫ 建設に要する費用
- ⑬ 維持管理に要する費用
- ⑭ その他

3. アンケートクロス集計結果

7) 特に重視すべき項目の分析②（年代別）

○20代が最も「①～⑦道路整備による効果・改善点」を重視しており、年齢の増加とともに、「⑧～⑭配慮すべき点」を重視する割合が増加している。

【重視すべき項目×年代】



- 道路整備による効果・改善点
- ① 物流時間の短縮
 - ② 渋滞が緩和
 - ③ 救急医療機関へ早く搬送
 - ④ 交通事故
 - ⑤ 歩行者の安全性
 - ⑥ 越波による代替路
 - ⑦ 津波浸水による代替路

- 配慮すべき点
- ⑧ 自然環境への影響
 - ⑨ 大気質や騒音の影響
 - ⑩ 移転などが必要な家屋
 - ⑪ 工事中の交通規制の影響
 - ⑫ 建設に要する費用
 - ⑬ 維持管理に要する費用
 - ⑭ その他

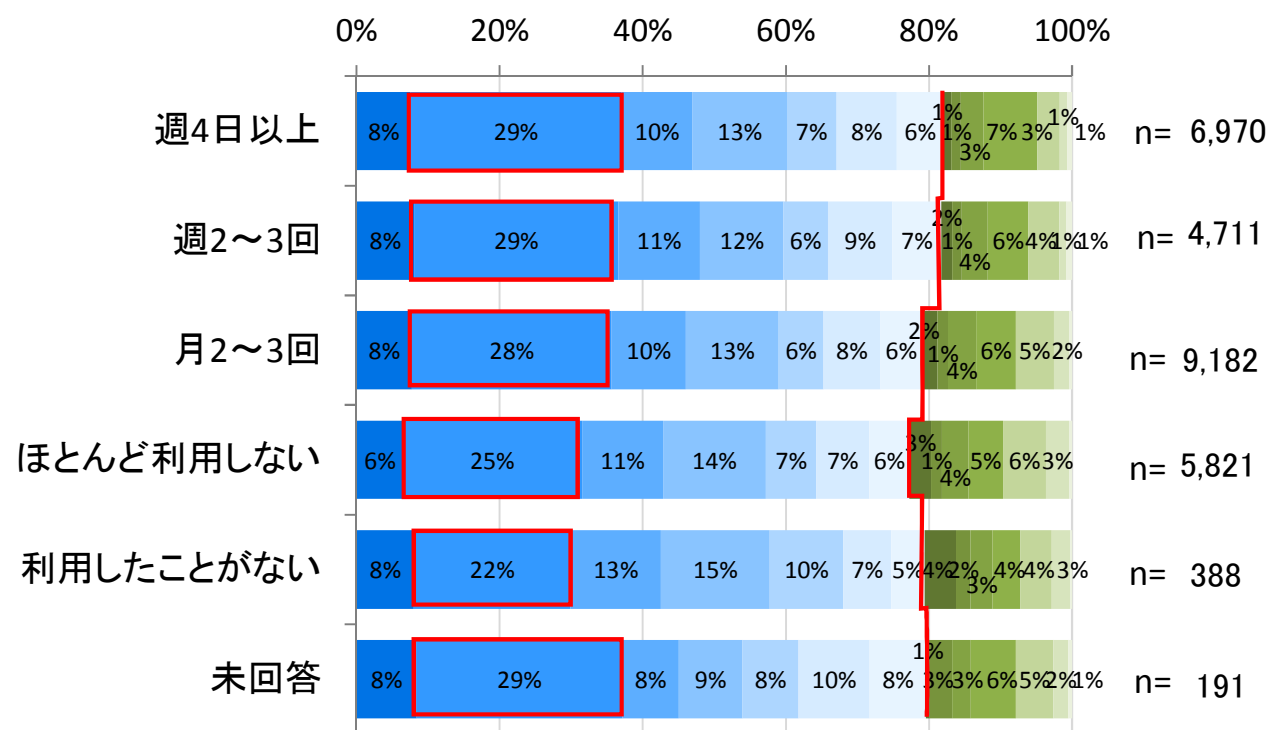
3. アンケートクロス集計結果

8) 特に重視すべき項目の分析③（利用頻度別）

○利用頻度が高いほど、「②渋滞の緩和」を重視する割合が高い。

○利用頻度が高いほど、「①～⑦道路整備による効果・改善点」のカテゴリを重視する割合が高い。

【重視すべき項目×利用頻度】



道路整備による効果・改善点

- ① 物流時間の短縮
- ② 渋滞が緩和
- ③ 救急医療機関へ早く搬送
- ④ 交通事故
- ⑤ 歩行者の安全性
- ⑥ 越波による代替路
- ⑦ 津波浸水による代替路

配慮すべき点

- ⑧ 自然環境への影響
- ⑨ 大気質や騒音の影響
- ⑩ 移転などが必要な家屋
- ⑪ 工事中の交通規制の影響
- ⑫ 建設に要する費用
- ⑬ 維持管理に要する費用
- ⑭ その他